



2021年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年1月29日

上場会社名 株式会社秋田銀行
 コード番号 8343 URL <https://www.akita-bank.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 取締役頭取 (氏名) 新谷 明弘
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員経営企画部長 (氏名) 皆川 剛 TEL 018-863-1212

四半期報告書提出予定日 2021年2月12日 特定取引勘定設置の有無 無

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満、小数点第1位未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	31,102	1.7	2,967	35.9	2,070	29.4
2020年3月期第3四半期	31,672	4.2	4,631	1.4	2,934	3.5

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 11,658百万円 (94.6%) 2020年3月期第3四半期 5,988百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
2021年3月期第3四半期	115.84	
2020年3月期第3四半期	163.85	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	3,490,387	176,174	5.0
2020年3月期	3,030,786	165,830	5.4

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 175,502百万円 2020年3月期 165,173百万円

(注) 「自己資本比率」は、(期末純資産の部合計 - 期末非支配株主持分)を期末資産の部合計で除して算出しております。
 なお、本「自己資本比率」は、自己資本比率告示に定める自己資本比率ではありません。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
2020年3月期		40.00		40.00	80.00
2021年3月期		35.00			
2021年3月期(予想)				35.00	70.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 1. 2020年3月期の第2四半期末配当金の内訳 普通配当35円00銭 記念配当5円00銭

2. 2020年3月期の期末配当金の内訳 普通配当35円00銭 記念配当5円00銭

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	3,400	34.9	2,400	23.2	134.21

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期3Q	18,093,643 株	2020年3月期	18,093,643 株
期末自己株式数	2021年3月期3Q	211,832 株	2020年3月期	228,990 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期3Q	17,875,816 株	2020年3月期3Q	17,908,376 株

(注) 期末自己株式数には、BIP信託が保有する当行株式数(2021年3月期3Q70,505株、2020年3月期87,900株)を含めております。

また、期中平均株式数を算定するにあたり、BIP信託が保有する当行株式の期中平均株式数(2021年3月期3Q76,641株、2020年3月期3Q43,897株)を控除する自己株式数を含めております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○ 添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	P. 2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	P. 2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	P. 2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 3
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 4
(3) 継続企業の前提に関する注記	P. 6
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	P. 6
(参考) 2021年3月期 第3四半期決算の状況 (四半期決算補足説明資料)	P. 7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

経常収益は、資金運用収益の減少により、前年同期比 5 億 7 千万円減少し 311 億 2 百万円となりました。経常費用は、国債等債券償還損や株式等償却の増加により、10 億 9 千 4 百万円増加し 281 億 3 千 4 百万円となりました。

この結果、経常利益は、前年同期比 16 億 6 千 4 百万円減少し 29 億 6 千 7 百万円となりました。

親会社株主に帰属する四半期純利益は、8 億 6 千 4 百万円減少し 20 億 7 千万円となりました。

セグメント別の業績については、銀行業務は、経常収益が前年同期比 6 億 1 千 1 百万円減少の 274 億 2 百万円、経常利益は 15 億 6 千 1 百万円減少の 29 億 8 千 5 百万円となりました。

リース業務は、経常収益が前年同期比 1 億 2 千 6 百万円増加の 36 億 7 千 5 百万円、経常利益は 4 千 9 百万円増加の 1 億 3 千 6 百万円となりました。

クレジットカード業務等のその他の業務は、経常収益が前年同期比 1 億 1 千 6 百万円減少の 9 億 1 千 8 百万円、経常利益が 1 億 4 千 5 百万円減少の 2 億 2 百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

総預金（譲渡性預金を含む。）

個人預金、法人預金および公金の増加により、前連結会計年度末比 2,665 億円増加し 2 兆 9,688 億円となりました。

貸出金

個人ローン、事業先向け貸出および国・地公体向け貸出の増加により、前連結会計年度末比 2,090 億円増加し 1 兆 8,210 億円となりました。

有価証券

前連結会計年度末比 799 億円増加し、7,767 億円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

2020 年 11 月 11 日に公表した業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
現金預け金	619,613	764,411
コールローン及び買入手形	5,842	35,703
買入金銭債権	6,901	7,789
商品有価証券	423	—
金銭の信託	—	1,013
有価証券	696,857	776,753
貸出金	1,612,055	1,821,066
外国為替	1,808	1,985
その他資産	65,924	59,787
有形固定資産	19,878	18,995
無形固定資産	1,608	1,349
退職給付に係る資産	1,433	1,578
繰延税金資産	329	322
支払承諾見返	9,454	11,771
貸倒引当金	△11,345	△12,141
投資損失引当金	△0	△0
資産の部合計	3,030,786	3,490,387
負債の部		
預金	2,619,653	2,840,098
譲渡性預金	82,742	128,778
コールマネー及び売渡手形	804	43,661
債券貸借取引受入担保金	50,674	59,982
借入金	80,082	204,244
外国為替	51	344
その他負債	11,915	11,829
役員賞与引当金	20	10
退職給付に係る負債	2,858	2,780
役員退職慰労引当金	24	21
株式給付引当金	74	55
睡眠預金払戻損失引当金	534	447
偶発損失引当金	850	810
繰延税金負債	3,672	7,843
再評価に係る繰延税金負債	1,543	1,534
支払承諾	9,454	11,771
負債の部合計	2,864,956	3,314,213
純資産の部		
資本金	14,100	14,100
資本剰余金	9,212	9,212
利益剰余金	123,439	124,152
自己株式	△670	△637
株主資本合計	146,081	146,828
その他有価証券評価差額金	18,590	27,846
繰延ヘッジ損益	—	3
土地再評価差額金	2,986	2,996
退職給付に係る調整累計額	△2,485	△2,174
その他の包括利益累計額合計	19,091	28,673
非支配株主持分	657	671
純資産の部合計	165,830	176,174
負債及び純資産の部合計	3,030,786	3,490,387

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
経常収益	31,672	31,102
資金運用収益	18,549	17,660
(うち貸出金利息)	12,227	11,967
(うち有価証券利息配当金)	6,116	5,568
役務取引等収益	5,164	4,848
その他業務収益	5,924	6,248
その他経常収益	2,033	2,344
経常費用	27,040	28,134
資金調達費用	556	249
(うち預金利息)	292	158
役務取引等費用	1,752	1,703
その他業務費用	5,360	6,151
営業経費	17,728	17,156
その他経常費用	1,642	2,874
経常利益	4,631	2,967
特別利益	4	16
固定資産処分益	4	16
特別損失	458	115
固定資産処分損	144	23
減損損失	314	92
税金等調整前四半期純利益	4,177	2,868
法人税、住民税及び事業税	1,173	906
法人税等調整額	60	△121
法人税等合計	1,234	785
四半期純利益	2,943	2,083
非支配株主に帰属する四半期純利益	8	12
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,934	2,070

(四半期連結包括利益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	2,943	2,083
その他の包括利益	3,045	9,574
その他有価証券評価差額金	2,905	9,259
繰延ヘッジ損益	3	3
退職給付に係る調整額	136	311
四半期包括利益	5,988	11,658
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,977	11,642
非支配株主に係る四半期包括利益	10	16

- (3) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。
- (4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

(参考)2021年3月期 第3四半期決算の状況

1. 損益の状況(単体)

(単位：百万円)

2021年3月期
通期予想値
(12か月累計)

		当第3四半期(A) (2021年3月期)	前第3四半期(B) (2020年3月期)	比較 (A)-(B)	
経常収益	1	27,402	28,013	△ 611	
①業務粗利益	2	19,983	21,167	△ 1,184	
コア業務粗利益(①-②)	3	20,210	20,765	△ 555	
資金利益	4	17,704	18,275	△ 571	
役務取引等利益	5	2,399	2,553	△ 154	
その他業務利益 (②うち国債等債券損益)	6 7	△ 120 △ 227	337 401	△ 457 △ 628	
経費(除く臨時処理分)	8	16,119	16,888	△ 769	
人件費	9	8,556	8,923	△ 367	
物件費	10	6,474	6,829	△ 355	
税金	11	1,088	1,135	△ 47	
コア業務純益(③-②)	12	4,091	3,877	214	4,500
コア業務純益(除く投信解約損益)	13	2,947	2,607	340	
③実質業務純益	14	3,864	4,278	△ 414	
④一般貸倒引当金繰入額	15	150	715	△ 565	
業務純益	16	3,714	3,563	151	
臨時損益	17	△ 728	983	△ 1,711	
⑤不良債権処理額	18	694	423	271	
うち個別貸倒引当金繰入額	19	585	208	377	
株式等関係損益	20	325	1,447	△ 1,122	
その他臨時損益	21	△ 359	△ 41	△ 318	
経常利益	22	2,985	4,546	△ 1,561	3,400
特別損益	23	△ 99	△ 454	355	
うち固定資産処分損益	24	△ 6	△ 139	133	
うち減損損失	25	92	314	△ 222	
税引前四半期純利益	26	2,886	4,092	△ 1,206	
法人税、住民税及び事業税	27	822	1,028	△ 206	
法人税等調整額	28	△ 135	69	△ 204	
法人税等合計	29	686	1,097	△ 411	
四半期(当期)純利益	30	2,199	2,994	△ 795	2,500
与信関係費用(④+⑤)	31	844	1,138	△ 294	

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

- コア業務純益は、前年同期比 214 百万円増加し 4,091 百万円となりました。
(通期予想値 4,500 百万円に対する進捗率は 90.9%)
資金利益は 571 百万円減少し、役務取引等利益は 154 百万円減少したものの、経費が 769 百万円減少したことが要因です。
- 経常利益は、1,561 百万円減少し 2,985 百万円となりました。
(通期予想値 3,400 百万円に対する進捗率は 87.7%)
コア業務純益は増加したものの、国債等債券損益が 628 百万円、株式等関係損益が 1,122 百万円それぞれ悪化したことが要因です。
- 四半期純利益は、795 百万円減少し 2,199 百万円となりました。
(通期予想値 2,500 百万円に対する進捗率は 87.9%)
特別損益は 355 百万円好転し、法人税等合計は 411 百万円減少したものの、経常利益の減少が要因です。

2. 金融再生法開示債権(単体)

- 金融再生法開示債権は前年同月末比 34 億円増加したものの、分母である対象債権が 1,722 億円増加したことから、不良債権比率は 0.01 ポイント低下して 2.08%になりました。
- 部分直接償却を実施した場合の不良債権比率は 1.77%になりました。

(注) 記載金額は億円未満を四捨五入して表示しております。

	(単位：億円)		2019年12月末	(参考) (単位：億円) 2020年3月末
	2020年12月末	2019年12月末比		
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	86	△ 8	94	86
危険債権	283	37	246	238
要管理債権	18	6	12	13
合 計 (A)	386	34	352	337
対象債権 (B)	18,500	1,722	16,778	16,371
不良債権比率(A)/(B)	2.08 %	△ 0.01 %	2.09 %	2.05 %

当行は部分直接償却を実施しておりませんが、仮に実施した場合の債権額残高は次のとおりであります。

	(単位：億円)		2019年12月末	(参考) (単位：億円) 2020年3月末
	2020年12月末	2019年12月末比		
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	27	△ 4	31	30
危険債権	283	37	246	238
要管理債権	18	6	12	13
合 計 (A)	328	39	289	282
対象債権 (B)	18,442	1,727	16,715	16,316
不良債権比率(A)/(B)	1.77 %	0.05 %	1.72 %	1.72 %

3. 自己資本比率 (国内基準)

2020年12月末の自己資本比率(国内基準)については現在算出中であり、確定次第、別途開示する予定であります。

4. その他有価証券の評価差額（単体）

○ その他有価証券の評価差額は、前年同月末（2019年12月末）比93億円減少し392億円となりました。（2020年3月末比では132億円の増加となりました。）

	(単位：億円)				(参考) (単位：億円)						
	2020年12月末				2019年12月末				2020年3月末		
	評価差額	2019年 12月末比	うち益	うち損	評価差額	うち益	うち損	評価差額	うち益	うち損	
その他有価証券	392	△ 93	404	11	485	494	9	260	308	47	
株式	287	△ 22	288	0	309	315	5	206	217	10	
債券	33	△ 30	37	3	63	64	1	35	39	3	
その他	71	△ 41	78	7	112	115	2	18	51	32	

(注) 記載金額は億円未満を切り捨てて表示しております。

5. 預金、貸出金および預り資産等の推移（単体）

- 預金は、個人、法人および公金預金の増加により、前年同月末比2,440億円増加し2兆9,767億円となりました。（増加率8.9%）
- 貸出金は、個人ローン、事業先向け貸出および国・地公体向け貸出の増加により前年同月末比1,684億円増加し1兆8,254億円となりました。（増加率10.1%）
中小企業等貸出は712億円増加し、1兆133億円となりました。（増加率7.5%）
- 預り資産の残高は、前年同月末比100億円減少し2,277億円となりました。（増加率△4.2%）

(1) 預金、貸出金の残高

	(単位：億円)			(参考) (単位：億円)
	2020年12月末	2019年 12月末比	2019年12月末	2020年3月末
預金（譲渡性預金含む）	29,767	2,440	27,327	27,098
うち個人預金	19,390	1,225	18,165	18,029
貸出金	18,254	1,684	16,570	16,164
うち個人ローン	3,792	14	3,778	3,763

(参考)

中小企業等貸出	10,133	712	9,421	9,371
---------	--------	-----	-------	-------

(注) 記載金額は億円未満を切り捨てて表示しております。

中小企業等貸出は、中小企業向け貸出と個人向け貸出の合計残高であります。

(2) 預り資産の残高

	(単位：億円)			(参考) (単位：億円)
	2020年12月末	2019年 12月末比	2019年12月末	2020年3月末
公 共 債	64	△ 3	67	66
投 資 信 託	566	△ 60	626	526
生 命 保 険	1,646	△ 38	1,684	1,698
合 計	2,277	△ 100	2,377	2,291

(注) 記載金額は億円未満を切り捨てて表示しております。

(以 上)